



カンゾウの定植作業に、避難者の方々が参加しました（4/17、大野亀台地）



被害を受けた女川町（宮城県）



避難者への聞き取り



両津港での避難者受付



東日本大震災被災者等支援本部



東日本大震災被災者等支援本部会議

東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます
とともに、1日でも早い復興を応援しています

市では被災者等支援本部を設置し避難された方々の支援を行っています

市では、この震災による被災者や、避難者の受け入れについて、市内のホテルや旅館などの協力を得ながら、3月23日～4月30日の間、市が1泊3食付きの宿泊料の全額を補ってんして、避難される方々を無償で受け入れてきました。

また、避難者が佐渡汽船を利用する際も、市と佐渡汽船が車の航送料を含めた運賃全額無料や、関係機関の協力を得て市内路線バス運賃無料、市内温泉施設の入浴料無料のほか、公共施設の使用料無料などの独自の支援を行ってきました。

今回の震災復興が長期にわたることから、従来の避難者支援の延長を含め、避難者の皆さんの住まいとして公営住宅やアパート、空き家等の提供を行い、さらに生活支援や就労支援、子どもたちへの就学支援など、できるだけ支援と協力を引き続き積極的に行います。

また、佐渡市消防本部では、緊急消防援助隊

佐渡市内避難者受入れ状況

(4/18現在)

ホテル・旅館等滞在者	168人
親戚・知人宅等滞在者	48人
計	216人

佐渡から元氣と復興への勇氣を送りましょう

(新潟県隊)に参加し、被災地で人命捜索や救急活動、火災警戒など活動しています。

地震発生以来、各地でイベントや旅行等の自粛が広がっており、島内では、基幹産業の観光業や商工業が大きな打撃を受けています。

被災された方々への配慮は当然のことですが、佐渡の経済活動が停滞することは被災地を支える一地域としても元気がなくなり、決して良い状況とはいえません。過度な自粛は避け、通常通りの経済活動や生活の中で、被災地を応援していきましょう。



4月13日、(社)佐渡観光協会と佐渡連合商工会から過度の自粛を払拭するための要望書が提出されました。